



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成26年9月

うるわし通信

空き家が増えています

日本各地で空き家が増えています。総務省の調査によると全国の空き家は平成25年10月時点で820万戸になり、平成20年時に比べ63万戸増加しています。すべての住宅に占める空き家率は13.5%になり、実に7.5軒のうち1軒が空き家となる計算です。桜井市の正確な数字はまだ発表されていませんが、私の住んでいる地域では、多くの空き家が目立ちます。今年の5月に桜井区内で10棟が焼ける火災が発生しましたが、その半数以上が空き家でした。

地方から若者が都会へ出て行って、そこで定住するため。故郷にある実家を引き継ぐ者が居なくなり、空き家となってしまう事例が多いようですが、1軒に数世帯が同居していた時代から、核家族化が進むことによって、1970年代から住宅建築が盛んになり、住宅の数が世帯数を上回るようになりました。私たちの桜井市においても、平成11年の64,728人をピークに人口減少が続いていますが、世帯数は増加傾向にあり、平成24年時の一世帯当り人員は2.5人となっています。みなさんのご家庭は、どうでしょうか？今後も高齢化が進み、さらに空き家が増え続けます。

さて、空き家が増えるとななるのでしょうか、管理する者がいないと不審火の発生原や、犯罪の温床になったりします。また、災害時には放置された家屋の倒壊によって被害が大きくなったり、非難行動が遅れたりする恐れがあります。

かと言って、使わない空き家を解体するには多額の費用がいります。さらに、現在の固定資産税制度によれば土地の固定資産税は住宅が建っていれば本来の6分の1に軽減されますので、空き家のままで、解体せずに放置しておく原因にもなっています。これは、高度成長期に農地から宅地への転用を促すために導入された制度ですが、人口減少時代を迎えた今、政府もようやく2015年度税制改正での動きが始まりました。

このように空き家対策については、自治体が空き家バンクを創設したりと改善にとりくんでいますが、なかなか解消に至っていないのが現実です。

ほんの細やかな一例ですが、我が家の居間の柱には、子供と従妹の成長記録を記しています。平成19年に親族が集まった記録として柱に皆で記録しました。その記録は後日、親族が我が家に集まる度に話題になっています。そうです、親族が我が家に帰ってくる楽しみになっているのです。行政が空き家対策に力を注ぐのも良いですが、今一度、家族で実家・故郷の大切さについて話し合ってみてはどうでしょうか！

(ひがし 俊克)



我が家の記録

まちのビジョンづくりと景観まちづくり

桜井市は中心市街地の空洞化（空き町家や空き店舗の増加）に伴い、建物の崩壊、火災など年々、危険な状況が増えています。私たちに求められていることは、地域資源（歴史的文化遺産、良好な景観、郷土愛など）を大切にしながら、次世代まで、安全安心に暮らせるまちをつくることです。そして、自分たちのまちを自分たちで考え、具体的に解決策を見出さなくてはなりません。そこで「本町通・周辺まちづくり協議会」が、住民・大学・行政など関係者が集まり、このまちの将来の大きな方向性を話し合う「まちのビジョンづくりワークショップ」と、これからの景観のあり方を考える「景観まちづくりワークショップ」が始まりましたので、ご紹介します。

桜井市本町通・周辺地域における町家調査中間報告会

林田先生（大阪工業大学建築学科准教授）を中心に木多先生（摂南大学建築学科教授）と小林先生（摂南大学講師）の指導のもと、両大学の学生19名が桜井市本町通周辺地域にある、町家の実測調査、町家の外観調査やスケッチをして、学生がこの町に望む町家のあり方が報告されました。

○良い状態の町家がたくさん残っている、次世代に受け継ぐには若者が興味を引く町家に改修していくべきだ。そうすれば、若い人が集まって町に活気を取り戻せる。

○本町通りには「たまり場」があるが、第2・第3のたまり場が必用だと思う、そうすれば、集う人が増えて町に賑わいが増える。

○町家の内部を調査する事もでき非常に重要な体験ができて良かった。中庭があり、外からの自然の風を室内に取り込むよう考えて建てられている。

○桜井駅前に桜井をイメージする物が欲しい。

上記の様に若い学生さんの貴重な意見が沢山あり、参加された住民の方々が聞き入っておられました。



引き続き、下記のワークショップがエルト2階の市民活動交流拠点にて開催されます。

日時	内容	進行役
9月21日(日)13:30～	エルト2階拠点の方法について	岡本 健(日本ファシリテーション協会会員)
10月5日(日)13:30～	桜井駅南側エリアの未来について	荒金 雅子(日本ファシリテーション協会理事)
10月19日(日)13:30～	これからの町並み景観をみんなで考えよう①	建築士会 & 大阪工業大学林田研究室
11月2日(日)13:30～	これからの町並み景観をみんなで考えよう②	建築士会 & 大阪工業大学林田研究室
11月30日(日)13:30～	桜井駅南側エリアの未来について	荒金 雅子(日本ファシリテーション協会理事)

市民活動交流拠点スタッフ イベント参加レポート【京都大学&西陣織会館】

(桜井市 市民活動交流拠点 運営協議会 事務局 : 森田明美・松村さやか)



↑ バス旅行なんて久しぶり。楽しい。



← 三輪山がお見送り。
行ってまいります～

↓ 車内は快適。
修学旅行気分
でにぎやか



↓ 京都大学に到着



↓ 吉田キャンパス 百周年時計台



↓ 学生さんが案内してくださいました。



↓ 西陣織会館: 着物ショー
艶やか。時代に合わせ近代柄も。
でも着物は正統派な和柄が素敵



↑ 『紋章上絵』の実演。達筆。
所作がお綺麗な方でした。



↑ マユから絹糸を取る
『座操り』実演



事務局だより

- うるわしの桜井をつくる会事務局の電話番号が変更になりました。
新しい番号は 0744-43-7773 (FAX兼用) です。よろしくお願いします。
- 9月の常任理事会は9月20日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。

お知らせ

●図書館友の会

9月の読書会は、日本で最も売れている週刊コミック誌
「週刊少年ジャンプ」を読みます。

日 時 9月30日（火）午後1時30分から

場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点

問い合わせ先 浅川 肇 TEL：090-1961-6345

友の会会員以外の参加も歓迎します。



●「大和さくらい百選」周遊ルート 明和の春・大和

明和9年（1772年）に本居宣長一行が、長谷の化粧坂を越え桜の咲く記紀の古里・大和さくらいにやって来ます。この時の感動は旅行記「菅笠日記」に長谷谷を挟んで、大和平野が見渡せる感動を『あざあざと見渡たされる景色』と認めています。

宣長の両親は、子どもを授かるために吉野・水分け神社に詣で、生まれたのが宣長であることから、常々お礼参りをする様に言い伝えられていたのです。

この度、「桜井 記紀万葉プロジェクト」による記紀万葉の古里として宣長が辿った地を繋ぐ周遊ルートを皆様にご紹介する企画を立案しましたので、ご案内いたします。

①講演会 明和の春・大和～本居宣長「菅笠日記の旅」桜井～

日 時 11月8日（土）午後1時30分～

場 所 桜井市立図書館

講 師 本居宣長記念館・館長 吉田悦之



②記念ハイキング

日 時 11月9日（日）午後1時30分～

集合場所 近鉄長谷寺駅前

コース 長谷寺駅～化粧坂～長谷寺～出雲・黒崎～慈恩寺～大和朝倉駅

後記 柳宗悦（やなぎ・むねよし）は、わたしたちが日常使用する雑器具の中に美を見出した。歴史・自然・伝統を讃えるナショナリズムに陥りがちだが、この人はそうでなかった。彼の民芸運動は、文化面における市民運動といえる。日本全国から彼の注目をひいたものに、桜井の経木織（きょうぎおり）がある。しかし、いま経木織の名を知るものもない。もう絶滅したのか。或いはこの技術が別の形で継承されているのか。読者のご教示をお待ちします。（浅川 肇）

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345